

教育セミナーのご案内

昭和 48 年、日本人工臓器学会は体外循環装置を扱う臨床工学技士と心臓血管外科医の方を対象に、その教育と知識向上を目的として第 1 回の教育セミナーを開催しました。以来このセミナーは継続され、今回で 34 回目を迎え学会事業の一環として会員各位、関連団体から高い評価を得ております。

今年の教育セミナーのテーマは「人工臓器」です。二日間に渡りますが、先ず初日の 7 月 14 日は心原性ショックに対する補助循環に関して昨年より本邦でも使用可能となった Impella 等を用いた治療戦略についての講演、そして人工心肺操作に関しては、医療安全講習でその基本と危険回避法について講演して頂きます。続いて臨床応用が始まった組織工学・再生医療の講演を予定しております。午後からは今年から使用可能となった Mitraclip（経皮的僧帽弁形成）を含む人工弁・人工弁輪の講演、人工臓器に関する研究（開発と臨床応用）の講演、在宅透析についての講演を予定しております。2 日目の 7 月 15 日はアフェレーシス・血液浄化、CRTD 等の講演を予定しております。

講師の先生方はそれぞれの分野における第 1 人者の 15 人の先生方に全国から集まって頂きました。例年以上に今回の教育セミナーは、きわめて内容の濃いプログラムを作成いたしましたので、最先端の情報を聞いていただき必ずや皆様にご満足いただけるものと確信しております。またこのセミナーを機会に人工臓器に興味を持って頂き、人工臓器学会に入会頂けるように学会員のセミナー受講料も下げさせて頂いております。

尚、体外循環技術認定士を目指される皆様には、本教育セミナー 1 回以上の受講が必須条件となっております。加えて、本教育セミナー受講によりセミナーポイント 10 ポイントが取得できます。本セミナー終了に引き続いて、第 32 回体外循環技術認定士認定試験及び第 10 回人工心臓管理技術認定士認定試験が 7 月 15 日に実施されます。こちらにもふるってご参加いただけましたら幸いです。

日本人工臓器学会

教育・臨床工学【体外循環】担当理事

戸田 宏一